

Contents **アーカイブズ**

2010.6 Vol.40

石井米雄先生を偲ぶ

カラーグラビア

目次

1 石井米雄先生を偲ぶ

まえがき 石井米雄先生を偲ぶ.....	高山 正也	
石井米雄先生とのふれ合い.....	菊池 光興	1
石井米雄先生のご遺志を受け継いで.....	平野健一郎	4
日本のアーキビストへの期待.....	石井米雄 (遺稿)	7
アジ歴5年のレビューと新しい展開.....	石井米雄 (遺稿)	13
石井米雄前センター長のアジ歴でのあゆみ.....	アジア歴史資料センター	17

2 公文書館をめぐる国・地方の動き

開館二十周年を経た名古屋市市政資料館の近況.....	朝倉 宏	23
富山市公文書館開館までの経過と今後の諸課題について.....	竹内 伸行	26
社団法人日本画像情報マネジメント協会のご紹介.....	高橋 通彦	30
第174回国会における公文書館関連の国会質疑等		33
地方公文書館の研究紀要.....		37

3 国立公文書館ニュース

インターネット特別展「日露戦争特別展 II ~開戦から日本海海戦まで 激闘500日の記録~」	平野 宗明	42
独立行政法人国立公文書館の動き (平成22年3月~5月)		47
国立公文書館情報誌『アーカイブズ』40号のあゆみ.....		49
平成22年度第1回常設展のご案内.....		60

新年度を迎え、表紙を一新しました。公文書の作成と密接な関係のある「印」を取り上げ、印影のいくつかを配置しました。また当館には、省庁の再編等で廃止となった公印が移管されている例もあります。『単行書・印影留』には明治6年当時の各省・各県の印影が集められており、当館のデジタルアーカイブシステムでご覧いただくことができます。この他にもいろいろお試しいただけると幸いです。

これから電子決裁の時代になると、印鑑の役割も変わってくるのでしょうかね。

題字は書家河東蜂城氏の筆になるものです。第4号から第10号まで使われていました。